



# あすもりサポーター通信

## コープの森 神居尻 育樹祭報告



10月20日(木) サポーターさん10名と当別の植樹地で育樹に行ってきました。当別ダムの工事は行くたびに景色が変わって立派な道路や橋が出来てきました。来春、植樹の頃にはどうなっているでしょう。

バスの中では少数ながら今までに植えた木や今日植える木の学習をしました。散策の時にこども達と見上げたミズナラや、葉っぱの特徴をみると興味がわくカツラの木。そして一番勉強になったのが、ナナカマドの葉の特徴でした。複葉は一枚の葉が変形したもので、マメ科もそれにあたるそうです。まだまだ知らないことがいっぱい、来春のバスの中でも学習を続けましょう。

今年最高の晴天のなか、下見の時に決めた樹種200本を14名で補植しました。通路側にシラカンバ30本、お楽しみにエゾヤマザクラ30本、秋の色

付きを考えてななかまど50本、イタヤカエデ50本、そのほかホオノキ10本、ハルニレ30本を用意しました。枯れた苗木や消えてしまった場所を探して植えるのですが、ハリギリなどしっかり育っているのでも植える場所をさがすのがとても大変でした。春に開花する桜を探して根踏みに行ったりホオノキの白い花が見られるかな～など来春の楽しみもできました。

午後からは、道民の森研修所横の斜面でアカエゾマツの枝打ちをしました。中に入るとうっそうとした斜面の木を順番に2段ほど枝を落としていくのですが、鋸で切ったとたんエゾマツの良い香りがしてきました。まだ枝が細いので面白いように進みます。すっかりきれいになった木々の下から空が望めてとても気持ちよくなりました。坂を下りて違う角度から眺めるとほとんどうっそうとしていて風も通らず、こんな風だったら今話題になっている熊にも出くわす可能性があるとのこと。少人数でしたが、皆さん元気で植樹も200本、枝打ちもしっかりでき心地よい汗を流した一日でした。



枝打ち体験



## 第1回コープ未来の森 栗山植樹祭 報告書

8月30日に栗山町と植樹協定が行われ、10月1日(土)にコープの森栗山植樹祭が開催されました。雨が激しく降り30分ほどで終了しましたが、植樹祭の開会式では看板の除幕式も行われました。栗山町からもたくさんの方が参加され、総勢64名で植樹を行いました。北海道に「コープ未来の森」がまた1つ増えました。

お昼から雨煙別にある「コココーラ環境ハウス」に移動し、昼食を食べた後リースづくりを楽しみました。参加者からは「初めて植樹をしました。未来に向かって必要なことだと実感しました。」「自分の植えた木が大きく成長することを楽しみにしています。」などの感想をいただきました。

## 北海道の森は宝物



2011・国際森林年

### 国際森林年記念講演会

## C.W. ニコルと森を考える

#### C.W. ニコル氏のご紹介

1940年7月14日、英国ウェールズ生まれ。

17歳でカナダへ渡り、その後、カナダ水産調査局北極生物研究所の技官として、海洋哺乳類の調査研究にあたる。国際森林年国内委員会委員、アフアンの森財団理事長。著書に『風を見た少年』(講談社)、『マザーツリー・母なる樹の物語』(静山社)、『魂のレッスン』(NHK出版)、『裸のダルシン』(小学館)など。

申し込み  
お問合せ

ハガキ、FAX お電話、メールにて「C.W.ニコル講演会」と記入し、氏名、住所、電話番号を明記の上お申し込みください。

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10番1号 コープさっぽろ基金事務局  
TEL 011-671-5651 受付時間 平日 10:00~17:00  
FAX 011-671-5743 メールアドレス csap.k.asumori@todock.jp

●くらしの講演会 道民カレッジ連携講座●

とき 11月18日(金) 開場 13:00  
開演 13:30

ところ 道新ホール

定員 500名 託児 20名まで1人200円  
(1歳以上 就学前まで)

※現在、定員を超えておりますので、抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

締切 2011年11月8日(火) 必着





## NPO 法人 森林再生ネットワーク北海道「もりねっと北海道」

8月30日、31日の2日間、コープ未来(あした)の森づくり基金2010年度助成団体で、旭川市を中心に森林管理や市民参加による森づくりの活動をしているNPO法人森林再生ネットワーク北海道「もりねっと北海道」の活動を、あすもり基金の運営委員など約15名で視察しました。

1日目は「もりねっと北海道」が指定管理を受託している日本最大級のカタクリの群落で有名な「突硝山」で、森の管理の視察と間伐体験。どの木を間伐すれば、林の中に陽のあたる明るい森になるかをみんなで考え、実際に間伐して効果を実感。その後、東川町にあるコープさっぽろ旭川地区の植樹地を視察しました。2日目は旭川地区のメンバーも参加して、東川町の個人所有の山林管理の現場、旭川工芸センター、東鷹栖町のペーパン地区山林での「森の道」施工の現場を視察しました。

山主さんが森に入るのが楽しくなるような「森の道」を付けることで、森の手入れがしやすくなり、魅力的な森になる。間伐などの手入れをすると森の生物多様性が増し、持続可能な生態系を持つ恵みをもたらしてくれる森になる。「もりねっと北海道」は、森の道づくりや間伐などの森の管理と、市民参加の体験をとおして、森を「活かす」、森を「つなぐ」活動をしています。これからの北海道の森にとって無くてはならない団体と感じました。

## あすもり基金 助成団体紹介 (2009年度小額助成)

### 河川愛護団体 リバーネット21 ながぬま 活動拠点 / 長沼町

良好な水辺環境や文化活動の啓発・発展のため、河川環境啓発、河川を通じた交流事業の支援、小・中学生の自然体験見学の支援、河川環境の調査・研究、河川にかかわる他のNPO組織、行政機関、団体との連携活動を行っています。

小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり植樹祭は、会員のみならず広く町民に呼び掛けて実施している植樹祭で、生態学的混播混植法という手法を用い、自然林に近い多種多様な樹種の植栽を行うことで、野鳥や野生動物に生息空間を与えるだけでなく、地球温暖化対策への啓発活動としても成果をあげています。

ホームページ <http://rivernet21naganuma.web.fc2.com/>



## コープさっぽろ 協賛イベントのご紹介

### KITA-NET発 北海道環境活動交流フォーラム2011

ここだけ無料



## みんなおいで！ モリ・イク広場

森がわかる、森を楽しむ、森にふれる

楽しい企画が森たくさん!!

コープ未来(あした)の森づくり基金レポート「モリ・イク」でおなじみのETOBUN社のミニ原画展や森のクラフト、クイズ、きたネット会員活動紹介など楽しめます。

日時：2011年11月23日(水、祝日) 10:00～18:20

会場：札幌エルプラザ

参加費：きたネット会員、コープあすもりサポーター 1,000円  
一般 1,500円

※基調講演・分科会・ワークショップ事前申し込み要

申込み：NPO法人 北海道市民環境ネットワーク

(問合せ) TEL 011-531-0482 FAX 011-531-0483

「きたネットWeb」：<http://www.kitanet.org>

### 基調講演1 「協働の力でつくる北海道の森林の未来」

柿澤 宏昭氏 (北海道大学農学部 森林政策研究室 教授)

### 基調講演2 「もっと森を。モア・トゥリーズの活動」

水谷 伸吉氏 (一般社団法人 more trees 事務局長)

※その他、分科会A・B・C、ワークショップも開催

主催 / NPO法人 北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

共催 / 環境中間支援会議・北海道 協賛 / コープ未来の森づくり基金